

「いい学校」をみんなの力で創りたい！ ～第二十三代（第十六代）校長として～

学校長 持丸 隆一



陽春のころ、みなさまにはますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

また、保護者のみなさまにおかれましては、お子さまのご入学、ご進級おめでとうござい
ます。心よりお祝い申し上げます。

4月1日付けをもちまして、本校の第二十三代（第十六代）校長として着任しました持丸
です。130年からの歴史のある学校の校長として職員、子どもたち、保護者のみなさま、
地域のみなさまとともに今までにも増して「いい学校」創りに微力ですが、邁進していき
たいと思います。街中で見かけましたら気軽に「よっ、二十三代目」とお声をかけていただ
ければ幸いです。みなさまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

さて、「いい学校」とは？

このことについてみんなで考えながら、様々な場面で意見交換をさせていただきながら、
みなさまとともに学校運営を進めていきたいと考えております。すでに着任の折、本校職員に
は「いい学校」について考えを示し、意見募集も行っています。今後の学校説明会の折にも
職員の考える「いい学校」についてはお示しし、具体的な取り組みについてもお話しさせて
いただこうと考えております。子どもたちにも、6年生には4日の入学式準備の日に第59
代卒業生となるみんなの力を借りて「いい学校」を創っていきたくと話しました。また、そ
のための第一歩として「いい仕事」をしてもらいました。「いい仕事」とは、5年生の国語
の教科書に杉みき子さんの「わらぐつの中の神様」という話が載っていて、その中で出てく
る言葉です。すでに学習している6年生は、十分にこの「いい仕事」の意味を理解して準備
に取り組んでくれました。ですから、当然の結果として、仕事を終えた6年生は、誰もが「い
い顔」で体育館に戻ってきてくれました。2年生以上の子どもたちには、始業式で「いい子」
という話をしました。「いい子」とは、どういう子でしょうか。「いい子」とは何にもまして
気立てがよい。人に対しての優しさをもっている子どもです。人のために汗を流せたり、涙
の流せる子どもです。学校ですから、学力もしっかりと身に付くよう指導しますが、みなさ
まとともに白根の子どもたちを誰に対しても優しい、心根の良い「いい子」に育てていき
たいと思います。1年生には、「いい子」になるための第一歩として入学式で「いい耳」の
話をしました。「いい子」になるために、全校でまずは「いいあいさつ」から始めて子ども
たちとも力を合わせて「いい学校」を創っていきます。

保護者のみなさま、地域のみなさまとは、「いい子」を育て、「いい学校」を創っていく上
でも、今まで以上に「いい関係」を築いていければと考えております。たくさんの「いい話」
に満ちた1年となるよう、今までにも増して学校教育に対してのご理解とご支援をお願い
いたします。